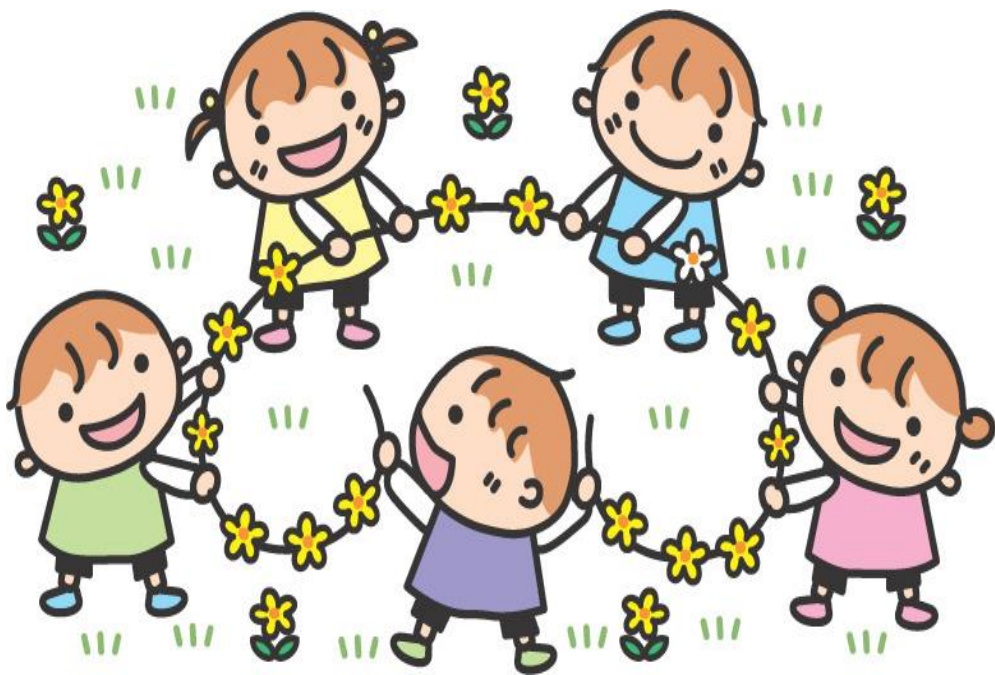


平成31年度

入園のしおり



塩尻市立広丘西保育園

〒399-0706

塩尻市広丘原新田 279-5

TEL・FAX 0263 (85) 5430

hirookanho@city.shiojiri.lg.jp

目 次

1	はじめに	
2	広丘西保育園の概要 P1
3	保育目標と保育の中で大切にしていること P2
4	保育園の1日 P5
	（1）3歳以上児の1日	
	（2）0. 1. 2歳児の1日	
5	1年間の主な行事とあそび P7
	（1）行事とあそび	
	（2）定期的に行う行事	
	（3）保育園で行う健康チェック	
6	入園にあたりお願いしたいこと P10
	（1）子どもの生活	
	（2）病気と与薬	
	（3）服装	
	（4）その他	
7	入園までに準備するもの P12
	（1）3歳以上児	
	（2）3歳未満児	
8	資料	
	「くすりの連絡票」 「登園許可証明書」 P16
	「園児のかかりやすい病気・感染症」	

1 はじめに

乳幼児期は、人間形成の上でとても大切な時期です。保育園では、一人ひとりの子どもの状態を把握し、よりよい環境の下で自己を十分に発揮できるように、発達に応じた活動の積み重ねを大切にしています。集団という社会生活の中で、友達や保育者とかかわり、愛され、尊重され、相互に助け合い、心身ともに健やかな成長ができるようにと考えています。

未来を生きる子ども達が、自らの力で、それぞれの個性に合わせて、楽しく、豊かな実りの多い人生を生きていくことの基礎を培うことが私達の願いです。

保育園に入園すると、保護者の皆さんの生活や子育て環境は大きく変わっていきます。そして、お子さんも集団生活の中で、人として大切なたくさんのことを学んでいきます。しかし、お子さんの生活の基盤はご家庭にあります。保護者の皆さんの愛情こそが、子どもの活力の1番の源です。どうか、そのことだけは、いつも心に留めておいていただけたらと思います。

2 広丘西保育園の概要

- (1) 施設の名称 塩尻市立広丘西保育園
(2) 所在地 〒399-0706 長野県塩尻市広丘原新田 279-5
(3) 連絡 電話・FAX (0263) 85-5430
メールアドレス hirookanho@city.shiojiri.lg.jp

- (4) 建物・施設概要
建物延面積 911 m²
園庭面積 585 m²
構造 鉄筋コンクリート造 2階建て

- (5) 施設内容
保育室(8) リズム室 給食室
事務室(兼医務室)
園児用トイレ(大10・小10) 大人用トイレ(3)

- (6) 職員構成 (平成30年度参考)
園長(1) 園長代理(1) 保育士(20)
長時間担当保育士他(8) 保育補助員(1)

- (7) 園児数 定員 130名 平成30年11月現在

クラス名	年齢	園児数	クラス名	年齢	園児数
ひよこ組	0・1歳	12	ひばり1・2組	4歳	36
あひる組	2歳	12	つばめ1・2組	5歳	25
すずめ1・2組	3歳	30	計 125名		

(8) 保育園の環境

広丘西保育園は、平成9年に広丘児童館と併設、現在地に新築移転されました。塩尻市の北側に位置し、周囲には塩尻北部公園、塩尻短歌館、広丘小学校、奈良井川の河川段丘の林が拡がり、自然と文化に恵まれた環境の中にあります。四季折々の身近な自然との関わりは、子ども達の心身をたくましくのびやかに育ててくれます。

また、隣接する広丘小学校の小学生と年間を通じての交流や地域の高齢者との交流、未就園児との交流を行っています。世代を超えた人との関わりは、子ども達に思いやりの気持ちや豊かな心を育ててくれています。

3 保育目標と保育の中で大切にしていること

【塩尻市保育基本目標】

- ◎ 次代を主体的に生きる豊かな子どもを育てる

【広丘西保育園保育目標】

- ◎ 心身ともに健康で活気あふれる子ども

1、良く食べよく遊ぶ子ども

子どもが元気に活動するためには、気持ちが安定していることと健康な身体であることが大切です。生活環境の変化により、子どもも歩くことや体を動かすことが少なくなっていますが、体づくりの第一歩は、まず身体を動かすことからです。戸外で積極的に遊んだり、自然に触れたりする活動を多く行なっています。

また、生きていくために必要なこと〈食べる・着る・排泄・清潔・寝る・身を守る〉の自立に向け、園生活の中でも学んでいきます。元気に遊び、しっかり食べて病気に負けない、バランスの良い発達をめざします。

2、人の思いに気づくことができる子ども

子どもは友達との関わりを深めていく中で、ケンカをしたり、自己主張し合ったりしながら、少しずつお互いの気持ちに気付いたり、相手の気持ちを理解したりできるようになります。友達とのやり取りを重ねながら、友達の喜びや悲しみに気づき、他者を思いやる気持ちを育てていきます。

また、地域の小・中学校生や高齢者と多様な交流を行ない、その優しさにふれたり、大きくなることへの憧れを持ったりします。異年齢児や未就園児との交流も大切にしています。

3、さまざまなことに興味を持って取り組む子ども

子どもはほんの小さなことにも気付き、感動し、さまざまな実体験を通して学んでいきます。「おもしろそうだな」「やってみよう」「できた!」という喜びや達成感が、次に挑戦する気持ちや工夫へとつながります。子ども同士で遊ぶ体験を重ねることにより、創造力を発揮したり、より豊かに遊びを展開できるようにしていきます。

4、自分の気持ちや考えを表現できる子ども

挨拶や返事をはじめとして、自分の気持ちを話したり、感じたことや考えたことを表現できるように、いろいろな経験を積み重ねていきます。相手の気持ちを理解するだけでなく、相手にわかるようにするにはどうすればよいかや相手の話をきちんと聞くことも大切にしています。

【保育の中で大切にしていること】

1、楽しい保育園

好きな先生やお友達をたくさんつくろう

保育園には、同年齢や異年齢のお友達や保育士、心地よい居場所があります。そして、好きな遊びが十分できるような環境を用意しています。心地よいと感じる居場所は、その子どもにより様々ですが、気持ちを受け入れ、安定する場所を確保すると生き生きと活動できるようになります。

子ども達は自分の気持ちを受け止めてくれる相手を常に求めています。担任はもとより、園の職員すべてがその気持ちに添えていくと共に、子どもの良い姿をたくさん見つけて、ほめて子どもの心を伸ばす保育を心がけています。

2、良い生活習慣

自分のことは自分でしよう

手洗い・手拭き・トイレの始末等、自分の身体を清潔にすることや、整理整頓、着脱など、毎日繰り返しの中でできることが増えていくように励ましていきます。

おいしく食べよう

成長発達に欠かせない食事を大事に考えています。リラックスできる雰囲気工夫し、徐々に食べられる物が増えていくよう、個々に合った援助をしていきます。食事のマナーについても繰り返し体験を通して身につくよう指導しています。また、園庭の一部やプランターで野菜を育て、収穫したり食べたりします。

3、生活の中での基本的なこと

挨拶をしたり、話をよく聞いたりしよう

挨拶（おはよう、こんにちは、さようなら）や、生活に必要な言葉（ありがとう、ごめんなさい、～してください）など場に合った使い方を大事にします。また、人の話が聞けるようになって欲しいと願い、いろいろな保育の形態の中で話を聞く機会を多く作っています。

4、子どもの遊び

たくさん遊ぼう

子ども達は「遊ぶこと」から、おもしろさや人との関わり方を学び、丈夫な身体や想像力・創造力を養います。いろいろな体験を継続的に行える環境（物、人、自然、空間）を整え、活動の願いに合わせた保育の方法（自由遊び、クラス、同年齢、全体での課題活動など）を取り入れながら、子ども達が自発的にそして、主体的に活動できるように援助していきます。

5、一人ひとりの子どもの成長・発達

個別支援保育「スマイルキッズ」

市内公立保育園では、子どもの成長発達を促すために「個別支援保育」を実施しています。

広丘西保育園では「スマイルキッズ」という名称で年長児（つばめ組）を中心に行っています。一人ひとりの子どもが持っている得意なこと、苦手なことを確認し、少人数グループの中で必要な援助をしていきます。身体全体の発達のバランスを整えたり、社会性を身につけるためのプログラムメニューを作成したりして、達成感や自信が持てるように援助しながら実践しています。



4 保育園の1日

(1) 3歳以上児の1日

時間	子どもの活動
7:30	朝の長時間保育（異年齢 混合保育）
8:30	登園 （挨拶 持ち物の始末 遊びの準備）
9:00	朝の集まり 遊び （保育の計画により、自分の好きな遊び、クラスや他の年齢の友達との遊びや活動など）
11:00	片付け 昼食準備
11:20	昼食 （楽しい雰囲気の中で食べます） 食後の片付け （食器・お弁当など） 静かな遊び つばめ組 （クラスで決められた場所の掃除）
12:30	午睡準備 （布団をひく トイレ 上着や靴下を脱ぐ）
12:40	午睡 （絵本やお話を読んでもらって眠ります）
14:30	めざめ （布団の片付け 身支度を整える トイレ） おやつ準備
15:00	おやつ （友達と一緒に楽しく食べます） 遊び （食後の静かな遊び クラスみんなでの遊び）
15:45	帰りの集まり（絵本 手遊び 歌など 今日の振り返りをしたり、明日への期待を持てるようにします）
16:00～	順次降園 さようなら
16:30～	夕方の長時間保育 （異年齢 混合保育） 順次降園
19:30	保育終了

* 年齢クラスや時期により多少の時差があります。

* 午睡期間・・・つばめ組は10月末頃まで。すずめ・ひばり組は通年行います。眠れない子どもは、絵本を読んだり、静かな遊びをして過ごすこともあります。



(2) 0・1・2歳児の1日

時 間	子 ども の 活 動
7:30	朝の長時間保育 随時登園（異年齢 混合保育）
8:30	登園 （挨拶 持ち物の始末 遊びの準備等） 遊び
9:00	片付け おやつ準備 （トイレ・オムツ替え・手洗い・エプロン）
9:15	おやつ 遊び （好きな遊び 散歩 保育士や友達とのあそび等）
10:50	片付け 昼食準備 （トイレ・オムツ替え・手洗い・エプロン）
11:10	昼食 （楽しい雰囲気の中で食べます） 食後の片付け （できる子どもは食器を自分で片付けます） 静かな遊び
12:15	午睡準備 （トイレ・オムツ 上着・靴下を脱ぐ 汚れた服の 着替え）
12:30	午睡 （絵本やお話を読んでもらって眠ります）
14:30	めざめ （トイレ・オムツ替え） おやつ準備 （手洗い エプロン）
15:00	おやつ （たのしい雰囲気の中でおやつを食べます） 遊び
15:45	2歳児は帰りの集まり（絵本 手遊び 歌など）
16:00～	順次降園 さようなら
16:30～	夕方の長時間保育 （異年齢 混合保育） 順次降園
19:30	保育終了

* 年齢クラスにより多少の時差があります。
午睡期間・・・通年行います。

* オムツ替え・トイレの時間は目安です。一人ひとりの様子を見ながら行います。



5 主な行事とあそび

(1) 季節別の主な保育行事とあそび (平成30年度)

春

- ♪ 新しい環境や友達、保育者に慣れるように、好きな遊び、楽しい遊びを多く取り入れます。散歩へ出かけたり、自然物を使った遊びをしたりします。

入園式	入園おめでとう！いよいよ保育園生活のスタートです。
入園おめでとうの会	新入のお友達と仲良しになる会です。つばめ組のお兄さんお姉さんが企画、準備してくれます。
家庭訪問・ 個別懇談会	担任とお家の方とでお子さんの保育についてじっくりと話し合います。5月中旬よりご都合に合わせて順次行います
春の遠足	春の自然に触れて遊びます。交通ルールも覚えながら歩きます。
保育参観	入園、進級して初めての参観です。お子さんの保育園での生活を半日ご覧いただきます。

夏

- ♪ 素材の感触を身体全体で体験し、感動や発見を重ねながら、身体全体を使ったダイナミックな遊びへと広がって行きます。友達との遊びも活発になります。

プール開き・ プール遊び	年齢発達に留意しながら、水の中で遊ぶ楽しさを8月末まで思い切り味わいます。「ワニさん歩き」からだんだん浮いたり、泳いだりができるようになっていきます。
七夕祭り	短冊や笹飾りを作って飾ります。由来等も知ります。
水・砂・土遊び	水・砂・土・泥・草花・絵の具・石鹸等いろいろな素材を使った遊びを園庭いっぱい展開して遊びます。
元気っ子相談 (前期)	ひばり組の4月～9月生まれのお子さんが対象です 集団の中でのお子さんの成長をご確認いただいたり、相談したりできます。
祖父母参観	祖父母の皆さんにおいでいただき、ふれあい遊びや製作等を楽しみます。 平成30年度は7月に行いましたが、他の季節に行うこともあります。



秋

- ♪ 様々な運動遊びを経験し、身体を動かすおもしろさ、楽しさを知り新しい遊びの発見へとつなげます。秋の自然の中で、大勢の友達と一緒に思い切り遊びます。

運動会	園全体の子ども達が一つになってみんなの運動会として盛り上げます。お家の方や地域の方も一緒に楽しんでいただきます。
秋の遠足	秋を感じながら、いつもより遠出をして思い出に残る遠足にします。
観劇	プロの劇団を招き、みんなで観劇します。子ども達の表現の幅も広がります。
土曜参観	日頃お忙しいご家族の方にも来ていただき、ファミリーデーとして、半日お子さんと楽しく過ごしていただきます。平成30年度は秋に行いましたが、他の季節に行うこともあります。
元気っ子相談 (後期)	ひばり組の10月～3月生まれのお子さんが対象となります。前期と同じ内容で実施します。

冬

- ♪ 寒くても積極的に戸外で遊びます。雪が降った時は、雪や氷での遊びも楽しめます。友達と一緒に相談したり、工夫したりしながらいろいろな遊びを楽しめるようになります。

クリスマス会	ツリー飾りを作ったり、リズム表現を楽しんだり、総合的な遊びの会として行います。子ども達がとても楽しみにしている行事です。 サンタクロースもプレゼントを携えてやってきます。
お正月遊び	こま・トランプ・凧上げ・羽根つき等、昔からの遊びや友達とのやりとりが楽しい遊びを経験します。
表現遊び	今までの経験を基にして、劇遊びや歌、合奏、踊り、製作等いろいろな形で総合的な表現遊びをします。
保育参観	最後の保育参観です。お子さんの1年間の成長をご覧いただきます。
お別れ会	ひばり組が中心となって企画、準備します。 つばめ組のお兄さん、お姉さんに感謝したり、1年を振り返ったりして、一人ひとりが大きくなったことを認め合う会です。
卒園式	保育園の思い出を振り返りながら、つばめ組とお別れします。卒園式が終わるともうすぐ進級です。

その他

- 原新田地区の公民館行事への参加交流があります。
- 広丘小学校、広陵中学校、丘中学校、近隣の保育園、未就園児、地域の方との交流を随時行ないます。

(2) 定期的に行なう行事

誕生日会	毎月末に日を定め、誕生日のお子さんをみんなでお祝いします。 誕生日には、プレゼントがあります。 この日は、普段の給食とは違い、 誕生会特別メニューとなります。
安全指導	避難訓練（毎月 1 回） 交通安全教室（年 2 回・年長児は 3 回） 災害や事故、不審者侵入等の有事に備えて、避難することや安全な 行動を繰り返しの中から覚えます。

(3) 保育園で行う健康チェック

身体測定	毎月定期的に行います。身長と体重を測りますが、4・10 月は胸囲も 計測します。お子さんの成長は出席ノートに記録します。
健康診断 歯科検診	年 2 回、嘱託医師に診ていただきます。
尿検査	年 1 回検査をします。
視力検査	ひばり組を対象に行います。心配なお子さんは、専門医の受診をお勧め しています。

- * 毎朝、登園の際にお子さんの体調を確認します。
朝は元気でも、お子さんの体調は刻々と変化します。
熱が出る等、体調の変化のあった時は、
ご連絡させていただきます。

6 入園にあたりおねがいしたいこと

(1) 通園

○8時間保育（保育短時間）の場合、保育時間は、8時30分～16時30分の間です。

○登園時間は、8時30分～9時

○降園時間は、16時～16時30分（駐車場が混雑するため、時間の幅を設けています。）

- ・遅刻や欠席する場合は、電話かメールで、9時までにお知らせ下さい。
- ・お迎えが間に合わない場合は、必ず電話連絡をお願いします。緊急長時間保育を行います。

○保護者の方が責任を持って送迎をお願いします。お迎えの際に、いつもと違う方がいらっしゃる場合は、保護者の方から園へ必ず連絡を入れていただくようお願いいたします。

(2) 長時間保育

○8時間保育（保育短時間）の場合、長時間保育は、

朝 7時30分～8時30分 夕 16時30分～19時30分になります。

- ・長時間保育を希望される場合は、「長時間保育申込書」を提出していただきます。申し込みは、1ヶ月単位になります。長時間保育料については、「保育園のしおり」をご覧ください。

○緊急に長時間保育が必要になった場合は、緊急長時間保育を行いません。緊急長時間保育料は、月末に現金で集金させていただきます。

(3) 駐車場

○駐車場は、北部公園の駐車場と兼ねているため、保護者の方以外の車が入ってくる場合があります。十分にご注意ください。

(4) 服装

○薄着の習慣を心がけ、活動しやすく、汚れても良い服装をお願いします。

○子どもが自分で着脱しやすいように、適切なサイズの衣服をお願いします。

○ジャンパー等の襟の内側に、フック等に掛けられるひも（ち）を付けてください。

○衣服すべてに記名をお願いします。小さなお子さんは、子どもに分かる目印も併せて付けると自分のものがわかりやすくなります。

○毎日の通園には、紫外線予防や防寒のため帽子をかぶってきてください。

(5) 病 気

- 病気、特に感染症にかかったらできるだけ早めに受診し、様子をお知らせください。感染症とは、裏表紙裏面にある「**園児のかかりやすい病気・感染症**」のような病気をいいます。保育園のような集団生活の中で発生しますと、隔離ができないためにすぐに病気が広がってしまいます。登園するには、「**登園許可証明書**」が必要です。医師に記入してもらって、登園する際に持参してください。
- インフルエンザのみ、「**治癒報告書**」の提出になります。用紙は、園にあります。
- いつもと比べて体調がよくない場合は、登園時に必ず担任へお知らせください。
- お子さんの状態によっては、担任から連絡させていただいたり、お迎えをお願いしたりすることもあります。
- 保育園生活が続ける中では、病気や怪我のために保育園を長く欠席しなければならない時があるかもしれません。塩尻市では「**病児・病後児保育**」を桔梗ヶ原病院併設施設「**キッズステーション**」にて行なっています。事前登録しておけば、実施施設で受診後、お預かりできます。1日8時間までは、園児は無料です。詳しくは「**保育園入園のご案内**」をご覧ください。

(6) 与 薬

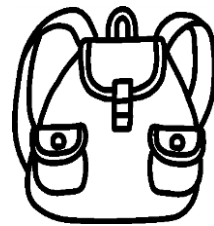
- 保育園での与薬は、基本的には行いませんが、勤務等で与薬ができない場合には、「**くすりの連絡票**」を提出していただき、保育士が行います。
- 医師が処方した内服薬のみお預かりします。塗り薬等については、直接ご相談ください。
- 薬は、「くすりの連絡票」と共に、直接担任へ手渡してください。朝の長時間保育のお子さんは長時間保育士に手渡してください。

(7) その他

- お便りノートの中に、2 ページ程のメモ欄があります。家での様子、行事の感想等にご利用ください。
- 緊急の連絡先、住所、電話番号、勤務先等の変更があった場合は、必ず担任へ連絡をお願いします。
 - ・勤務先、連絡先、世帯員が増えた場合は、保育園へ「**保育園入園児童台帳変更届**」を提出していただきます。
 - ・住所、保育を必要とする事由、保育時間の認定を変更する場合は、塩尻市役所こども課で「**支給認定変更申請書**」の手続きを行っていただきます。
- 長期欠席になりそうな場合は早めにお知らせ下さい。
- 「**登園許可証明書**」「**くすりの連絡票**」が必要な際には、資料のページをコピーしてご使用いただくと便利です。保育園にも用意してあります。

7 入園までに準備するもの

(1) 3歳以上児 (すすめ・ひばり・つばめ組)



毎日持ってくるもの

□通園カバン・・・自分で開け閉めできるもの

・リュック型のものは、遠足の時にも使えるので便利です。

□弁当・・・御飯を入れて持ってきていただきます。冬は保温するので、アルミニウム製のもの

・お弁当が開かないように、**幅広のゴムバンド**で留めてください。

□箸・・・子どもの手に合った長さのもの(手の長さ+2cm)

・できれば竹製等のすべらない材質のもの

□箸箱・・・自分で開け閉めできるもの スライド式が使いやすいです。

□弁当袋・・・弁当と箸を入れます。

□手拭タオル・・・タオル掛けへかける紐をつけてください。

・毎日持ち帰りますので洗い替えも用意しておいてください。

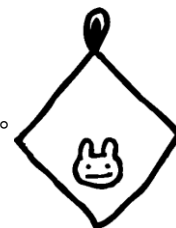
□コップ・歯ブラシ・・・毎日持ち帰ります。

・コップはうがいや歯磨き、水を飲むときに使います。

□コップ・歯ブラシを入れる袋・・・コップ・歯ブラシを入れます。口の大きく開く物が使いやすいです。

□ハンカチ、ティッシュペーパー・・・ポケットに入れて必要に応じて使います。

□出席ノート・・・園で用意します。子どもが出席スタンプを押したり、家庭と保育園相互で連絡事項を書いたり、園からの配布物をはさんだりします。保育園からの連絡事項をご覧いただいたらサイン等を記入してください。



園に置いて使用するもの

□上履き・・・子どもの足のサイズにあったもので、脱ぎ履きがしやすいもの。

□BOXティッシュ・・・1箱



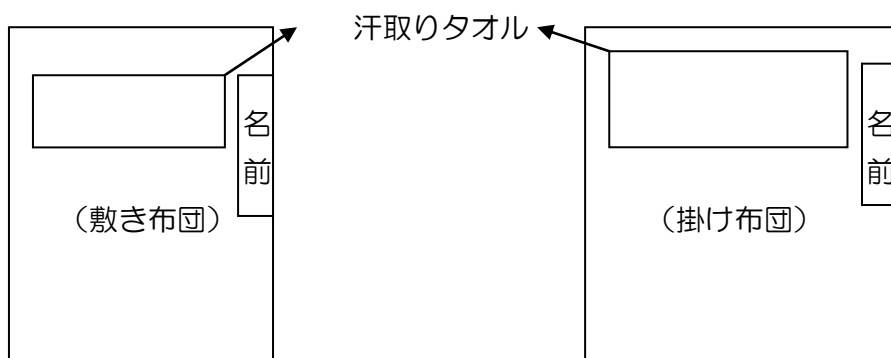
□着替え・・・パンツ・ズボン・シャツ・Tシャツ・靴下など各3枚くらいを入れてください。

- ・汚れ物を入れるビニールなどの袋3枚。
- ・すべての物に記名をはっきりとしてください。

□着替え袋・・・着替え一式が入る大きさのもの。(縦30cm×横35cmくらい)

- ・着替えたものを持ち帰ったら、着替えとビニール袋の補充をしてください。

□お昼寝用布団・・・布団の上下が分かりやすいように、汗取りタオルを両方に付けます。



- ・自分で布団を敷きますので、子どもが扱える厚さ、重さの物にしてください。
- ・春先と冬は毛布、夏はタオルケットが必要です。
毎週金曜日に持ち帰り、干したり、洗濯をしたりしていただき、月曜日に持ってきてください。

その他の必要なもの * 必要な時期になったら園便りで詳しくお知らせします。

□水筒・おしぼり・シート・・・遠足に使用します。

□水遊び用品・・・プール用水泳パンツまたは水着・水泳帽子・バスタオル・バック

- ・水着は、6月頃に保護者会の斡旋があります。
- ・泥んこ遊び用パンツ・Tシャツ・泥んこ用靴等

□雪遊び用品・・・ジャンパー・オーバーズボン・帽子・手袋・スノーブーツ等

- 絵本袋・・・ふたつきで縦30cm横40cmくらいの大きさのもの。
 - ・肩にかけられるように紐は長めにしてください。
 - ・6月頃から絵本の貸出をします。詳細は園だよりでお知らせします。

- UV帽子・・・紫外線対策として日よけ用帽子を使っています。
 - ・年齢により指定の色があり、通園にも利用できます。
 - ・一日入園の際に注文をとります。

(2) 3歳未満児（あひる・ひよこ組）

毎日持ってくるもの

- 通園カバン・・・1・2歳児は3歳以上児と同じリュック型のもの。
 - 0歳児はバックでもかまいません。

- 手拭タオル・・・3歳以上児と同じもの。

- コップ・・・3歳以上児と同じもの。0歳児は後日に別途ご連絡します。

- 食事用エプロン・・・タオルを半分に切って、片側にゴムひもを通してください。
 - ・1日分（午前・午後のおやつ・昼食）3枚をお願いします。
 - ・毎日持ち帰りますので洗い替えを用意してください。

- 口拭きタオル・・・手や口を拭きます。
 - 小さめのもので、0歳児はガーゼ地、1、2歳児はタオル地の物が使いやすいです。
 - ・1日分、3枚をお願いします。
 - ・毎日持ち帰りますので洗い替えを用意してください。

- ビニール袋・・・使用したエプロンや口拭きタオルを入れる、ジッパータイプか巾着タイプのビニール袋1枚。

- 連絡ノート・・・園で用意します。家庭の様子や園の様子を伝えあったり、園からの配布物をはさんだりします。
- ・ひよこ組は、ノートが開かないように、**幅広のゴムバンド**で留めてください。

- オムツ替え用バスタオル・・・オムツを替えたり、パンツをはいたりする時に使います。毎日持ち帰りますので、洗い替えも必要です。バスタオルを半分に切ったくらいの大きさのもの。

*3歳未満児は、完全給食ですので弁当・弁当袋はいりません。

*箸や箸箱、歯ブラシについては、様子を見て担任から後日連絡しますので、当初は必要ありません。

保育園において使用するもの

- オムツバケツ・・・ふた付きのもの。消臭のためにバケツの中に石鹸を1つ入れておいてください。
- ・オムツバケツの中にビニール袋を入れて使用済みオムツを入れます。
 - ・使用済みのオムツは、お迎え時に毎日持ち帰りをお願いします。
 - ・使用済みオムツを持ち帰る際には、**新しいビニール袋をバケツにセット**しておいてください。
- オムツ・・・紙オムツは、1枚ずつ、お尻側に記名してください。
- ・登園の際に履いてくるオムツにも記名をお願いします。
 - ・オムツは少なくなったら補充をお願いします。

- お尻拭き・・・ケース入りのもの。

- 上履き（あひる組のみ）・着替え・BOXティッシュ・お昼寝用布団・**その他の必要なもの**については、3歳以上児と同じです。

*ひよこ組は、保育室に個別の衣装ケースがありますので、着替え袋はいりません。

*ひよこ組は、園指定のカラーUV帽子はサイズが大きすぎるので、使用しません。ご家庭で帽子をご用意ください。

平成 年 月 日

くすりの連絡票

保育園長 様

保護者氏名

印

私は都合により保育園にいて薬を与えることができないので、私に代わって次のとおり薬を与えてください。

児 童 氏 名		組		保護者 TEL	
主治医	氏 名 (病院 ・ 医院)			TEL	
病 名 (または症状)					
持 参 し た 薬	処 方	平成 年 月 日に処方された 日分のうちの本日分			
	保 管	室温 ・ 冷蔵庫 ・ その他()			
	剤 型	粉 ・ 錠剤 ・ 液(シロップ) ・ 外用薬 ・ その他()			
	内 容	抗生物質 ・ 咳止め ・ かぜ薬 ・ かゆみ止め その他()			
	時使 間用	食前 ・ 食後 ・ 食間 その他具体的に ()			
	外用薬の使用方法				
	その他の注意事項(医師からの指示・副作用等) ()				
	投薬説明書 ・ ぬり薬指示書 / あり ・ なし				

- ※ 正確にご記入の上、「一日分の薬」とともに職員に渡してください。
(シロップは一回分を容器に入れてください。)
- ※ 保育園で判断を必要とする薬はお預かりできません。
- ※ 薬の袋・容器には、児童の氏名をはっきりとご記入ください。
- ※ ご記入された内容を再度ご確認ください。

保 育 園 記 載 欄	受領者 サイン					与薬状況など
	与 薬 時 間	月 日	午前 ・ 午後	時 分		
	与薬者 サイン					

平成28年8月 改訂

登園許可証明書

園児氏名

次の疾患で平成 年 月 日から療養中でしたが、他児への感染のおそれはないと思われますので、平成 年 月 日から登園してよいことを証明します。

次の疾患から該当するものを ○で囲んでください。

〈第二種伝染病〉

- 麻疹
- 流行性耳下腺炎
- 風疹
- 水痘
- 咽頭結膜熱
- 百日咳
- 結核

〈第三種伝染病〉

- 腸管出血大腸菌感染症
- 流行性角結膜炎
- 急性出血性結膜炎

〈その他の伝染病〉

- 溶連菌感染症
- ウィルス性肝炎（A型）
- 手足口病
- 伝染性紅斑
- ヘルパンギーナ
- マイコプラズマ肺炎
- 流行性嘔吐下痢症
- 伝染性膿痂疹（とびひ）
- その他（ ）

〈登園後の注意事項〉

平成 年 月 日

医療機関名
主治医氏名

印